

●児童・生徒の学力向上を図るための調査(中2)

課題の見られた問題の概要	結果
「正しい文法を使って書くことができるか」をみる問題	29. 50%
「与えられた条件とスピーチ原稿の内容を関連付けて読み取ることができるか」をみる問題	42. 60%
「与えられた話題について、与えられた条件に沿って書くことができるか」をみる問題	15. 60%

●調査結果を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<p>・都の児童・生徒の学力向上を図るための調査では、すべての観点において都の平均より高い結果になった。</p> <p>・「会話を聞いて何の話題について話しているかを判断できるか」を見る問題では、99. 2%の正答率であった。</p>	<p>ペアワークなどインタラクティブに英語を使う活動の時間を確保した授業を継続的に行い、英語を聞き、話す力が着実についてきている。それを書く力につなげていくために、間違いを恐れずに書こうとする態度を育みつつ、正しい英文を書くための文法の理解を発展的に進めていくことが課題である。</p>

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

成果	課題
<p>落ち着いた学校生活の中で、ほとんどの生徒が話をよく聞き、授業に集中して前向きに取り組むことができている。学習に困難をおぼえる生徒もその中で自分なりに努力をしている。</p>	<p>課題に感じることは文字を使って読み・書く技能には、文法やスペリングなどの正確さが必要であり、また単文から複数の文、まとまりのあるパラグラフへと書き進むために集中力と思考力を育てるために、ステップを踏みながら積み上げる学習を継続していくこと。</p>

●学年ごとの課題及び改善策等

学年	生徒の実態及び指導上の課題	具体的な授業改善策
1年生	全体的に授業中の読む活動やペアワークに意欲的に取り組んでいるが、単語や英文を正しく書く力に課題が見られる。	学習した単語をノートに練習させ定期的に単語テストを実施し、定着度を確認する。ワークシートやワークを活用してポイント文の復習確認を行い、英文を書く練習を繰り返す。
2年生	理解や知識の能力においてはおおむね良好な結果を出しているが、表現、特に書く力においては課題が見られる。	毎時間の授業内において、単文単位で書く活動を行い、定期的に複数の文章からなるライティング活動に取り組む。またその中で、パラグラフライティングの指導も行っていく。
3年生	高校入試を控え真剣に取り組もうという意欲を感じる。知的な成長に伴って文法を適切に理解して4技能の活動を多く設定し英語を使う力を育てることが課題である。	様々な分野の題材について書かれたまとまった内容の文章を読み取り、文法的に正しく論理的に一貫した内容の文章を書くことができるように易から難へステップをふんだ授業を進める。

●学校全体で取り組む内容

<p>現在の英語教育の方向は、学校を出た後、実社会において英語を使って「話す」「聞く」「読む」「書く」ことを間違いを恐れずに積極的に行う意欲と力をもった生徒を育てることである。このためには、ことばをコミュニケーションの道具として使う態度と技能において「国語」、事実や人の気持ちをコンテンツとして理解し伝えることにおいて「社会」「理科」「音楽」「美術」など他教科と連携した指導が重要となっている。この目的を共有して大きく長期的な視点で計画、実行、振り返り、改善をスパイラルに進める教科指導に継続して取り組んでいく。</p>
--